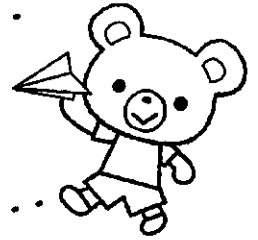


そらぐみだより



R8. 2. 27

(0歳児)

日に日に寒さも和らぎ、花壇の花々も芽をのぞかせています。

早いもので今年度も残り一ヶ月となりました。入所した時はあんなに小さかった子どもたちですが、この一年で心も体も大きくなりました。笑い声や泣き声に囲まれ、一番成長の著しい大事なこの時期を一緒に過ごせたことをとても嬉しく思っております。

いたらない面も多々あったかと思いますが、保護者の皆様のご理解、ご協力のおかげで一年を終えることができます。本当にありがとうございます。



今月の目標

・暖かい日は戸外に出て、外気に触れながら園庭遊びを楽しむ。

・食事や着脱を手伝ってもらいながら、自分でする喜びを味わう。



☆おねがい☆

進級に向け、自分で紙パンツやズボンをはく練習をしています。自分で着脱がしやすいよう、はきやすいズボンをお願いします。

お家でもお子さんの“自分で頑張ろう！”とする気持ちを大切に、状況に応じて手伝ってあげたり、時間に余裕がある時は見守ったりできるといいですね。



～足を育てる遊びやかかわり～

子どもの足を健やかに育てるためには、まず「子どもの足に、関心をもって見て、ふれる」ところから始めましょう。0歳児期の足のマッサージはスキンシップにもなります。

《足マッサージで刺激する》

足の裏を軽くマッサージしたり、足の指を優しく伸ばしたりします。

足の裏が刺激され、気持ちいい、くすぐったいなど、さまざまな感覚を育てます。

《はだしが子どもの感覚を育てる》

室内で過ごすときには、寒さ対策などの特別な理由がない場合には、靴下よりもはだしで過ごすのが良いでしょう。実は、足の裏は手のひらと同じようにとても敏感な部位です。小さなときに、はだしで「熱い」「冷たい」「やわらかい」などさまざまな刺激を受けることは、足の感覚を育て、五感を鍛えます。

《ワンポイントアドバイス》

お休みの日に近所の公園を歩くなど、子どもがのびのびと体を動かす時間を作ってあげられるといいですね。